



消防救急無線の高度化が実現

消防救急無線デジタル化通信指令業務運用開始式が、3月23日、消防本部通信指令室でありました。これにより、個人情報保護の観点による秘匿性の向上、消防無線通信の高度化、無線チャンネル数不足の解消など、より安定した通信が実現可能になりました。



島ムニの継承を目的に開催

第18回島唄・島ムニ大会が、3月1日、あしびの郷・ちなでありました。小・中学生や一般の方が、島ムニや踊りのほか、童話を方言でアレンジした寸劇などを披露し、たどたどしいながらも一生懸命発表する姿に、会場からは、笑いや拍手が上がりました。



将来の町農業を牽引する農家へ

認定新規就農者認定証交付式・家族経営協定調印式が、3月27日、役場第1会議室でありました。認定新規就農者4名、家族経営協定者1組を代表して、轟栄作さん（瀬利覚）が「今後は20代、30代が農業の底上げをできるようリーダーシップをとって頑張りたいです。」と抱負を述べました。



見事に満開

徳田盛亮さん（徳時）のツツジが、3月19日、見頃を迎えていました。ケラマツツ、ヒラドツツジ、キリシマツツジなど多種のツツジが咲き誇るなか、ひとつだけ桃色のツツジが…。徳田さんは「今まで見たことがない珍しい色。突然変異かも。」とにこやかに話してくれました。



55名の旅立ちの日

知名・田皆両中学校の卒業式が、3月12日にあり、保護者や在校生が見守るなか、知名中41名（男子18名、女子23名）、田皆中14名（男子7名、女子7名）計55名が、慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。

式では、卒業生入場から始まり、続いての卒業証書の授与では、一人ひとりの名前



が呼ばれると、生徒たちは、真剣な面持ちで証書を授与していました。また、在校生からの送辞や卒業生の答辞では、涙する生徒の姿が見られました。このほか、式終了後には、卒業の歌として「旅立ちの日」と「3月9日」が合唱され、会場は大きな感動に包まれていました。